

# IP<sup>3</sup>-FP8・IP<sup>3</sup>-FP4・IP<sup>3</sup>-K5D・IP<sup>3</sup>-LP4

## ファームウェア書換え方法

### 1. はじめに

- ・ 本書は IP<sup>3</sup>-FP8・IP<sup>3</sup>-FP4・IP<sup>3</sup>-K5D・IP<sup>3</sup>-LP4 のファームウェア書換え手順書です。
- ・ ファームウェア書換え後は 設定を工場出荷値(初期値)に戻す為、あらかじめ設定を読み出して下さい。
- ・ ファームウェア書換え中に本装置の 電源を切る・RS-232C ケーブルを抜く ことはしないで下さい。装置が故障する場合があります。
- ・ ファームウェア 書換え作業の失敗における動作不良に関しては有償修理 となりますので、手順に従い慎重に作業を行って下さい。

### 2. 準備物

ユーティリティ	“h8_veruputy_***.zip” (***はファイルのバージョン)		
バージョンアップファイル (解凍後のファイル)	IP <sup>3</sup> -FP8	“ip3fp8_rom_***. mot”	(***はファームウェアのバージョン)
	IP <sup>3</sup> -FP4	“ip3fp4_rom_***. mot”	(***はファームウェアのバージョン)
	IP <sup>3</sup> -K5D	“ip3k5d_rom_***. mot”	(***はファームウェアのバージョン)
	IP <sup>3</sup> -LP4	“ip3lp4_rom_***. mot”	(***はファームウェアのバージョン)
RS-232C ケーブル	全結線の RS-232C ストレートケーブル×1 本		
パソコン	COM ポート(USB シリアル変換ポート)を搭載したパソコン OS : Windows XP・Windows7・Windows8・Windows10		



ユーティリティ及びバージョンアップファイルは弊社ホームページ([www.i-netd.co.jp](http://www.i-netd.co.jp))よりダウンロードできます。  
ユーティリティ及びバージョンアップファイルは“Zip”形式にて圧縮してあります。解凍ソフトは別途ご用意下さい。

### 3. アプリケーション

#### 3-1. セットアップ

“h8\_veruputy\_\*\*\*.zip” をパソコン内の適当なフォルダ(ディレクトリ)に展開(解凍)して下さい。

#### ファイル説明

H8SUpdate104.exe : アプリケーション本体

H8SUpdate104.ini : アプリケーションの設定情報を保存するファイル

H8sbt001.sub : ブートレコードファイル(ファームウェア書換え制御プログラム)

- ・ 本アプリケーションはインストーラー(SetUp.exe)ではありません。“H8SUpdate104.exe” 単体で動作します。
- ・ 上記 3 つのファイルは 同一フォルダ(ディレクトリ)に保存 して下さい。
- ・ 上記 3 つのファイルは ファイル名の変更・ファイル内部の内容変更 は行わないで下さい。

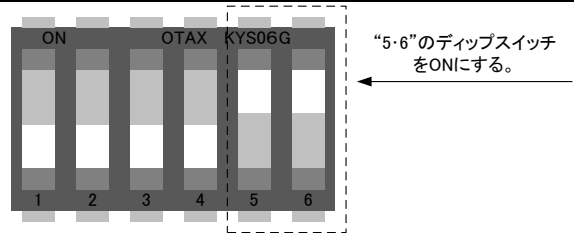
#### 3-2. アプリケーションの削除

本アプリケーションは レジストリを使用していません ので、本アプリケーションを削除する場合は“ファイル説明”に記載した 3 つのファイルを単に削除して下さい。

## 4. 書換え準備

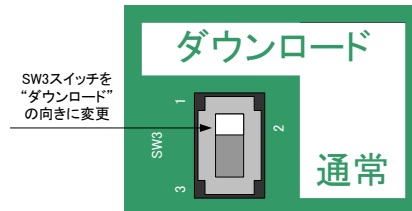
### 4-1. IP<sup>3</sup>-FP8・IP<sup>3</sup>-K5D

- ・ 本装置の“保守用”と表記されている RS-232C コネクタとパソコンの COM ポートを RS-232C ストレートケーブルにて接続します。
- ・ 本装置のディップスイッチを右図のように操作し電源を再投入します。このとき、本装置の電源以外の LED1～LED5 は不定発光をしますが、故障ではありません。



### 4-2. IP<sup>3</sup>-FP4・IP<sup>3</sup>-LP4

- ・ 本装置の“保守用”と表記されている RS-232C コネクタとパソコンの COM ポートを RS-232C ストレートケーブルにて接続します。
- ・ 本装置右側のスイッチを右図のように操作し電源を再投入します。このとき、本装置の状態 1・状態 2 の LED は緑・赤両方とも点灯します。点灯を確認後、次の作業に移行してください。



注意

#### 各製品共通

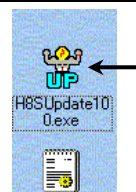
ファームウェア書換え時は通信アダプタへの RS-232C ケーブル、通信アダプタ電源供給ケーブルを取り外す必要はありません。

バッテリーを使用時はあらかじめバッテリーを取り外してから本体の電源を切り、“4. 書換え準備”を行って下さい。  
ファームウェア書換え前後の停電・復電通報は行いません。また、装置内の累積カウンタも消去されます。

## 5. アプリケーション操作

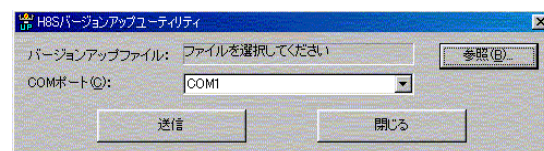
### 5-1. アプリケーション起動

“H8Supdate104.exe”をクリックします。このアプリケーションは“スタートメニュー”には登録されませんので、直接アプリケーションから起動して下さい。



### 5-2. 起動画面

アプリケーションが起動すると右図の画面が表示されます。



### 5-3. COMポート選択

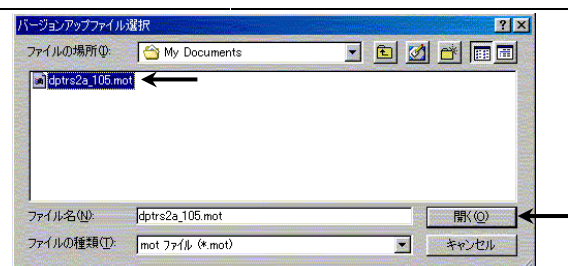
装置がパソコンに接続されている“COMポート(C)”選択後、“参照(B)”をクリックしバージョンアップファイルを選択します。



### 5-4. バージョンアップファイル選択

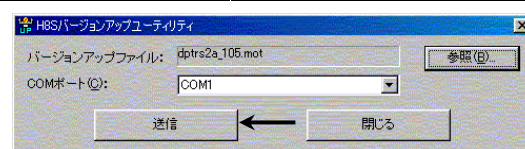
“参照(B)”をクリックするとダイアログボックスが開きますので目的のバージョンアップファイルを選択します。

“DPT-RS2A”のバージョン 1.05 のファイルが“C:¥My Documents”にある場合の例です。



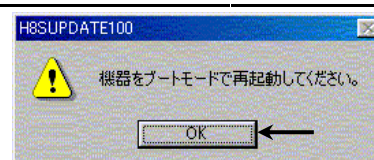
### 5-5. バージョンアップ開始

“COMポート”・“バージョンアップファイル”の選択が終了後“送信”ボタンをクリックします。



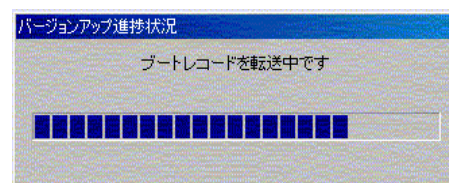
### 5-6. ブートモード起動

“送信”ボタンクリック後、右図のメッセージが表示されます。ケーブル接続・電源再投入・ディップスイッチの状態を確認後“OK”をクリックします。



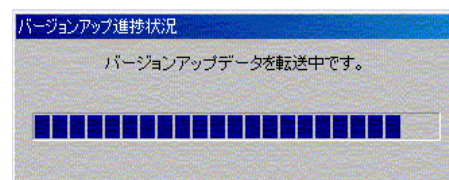
### 5-7. ブートレコード転送

ここからは自動処理となります。ブートレコード転送は約 10 秒～15 秒で終了します。



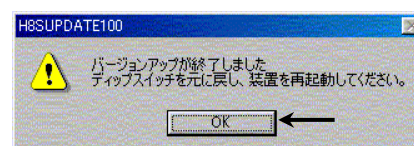
### 5-8. バージョンアップデータ転送

ブートレコード転送終了後、バージョンアップデータ転送に自動移行します。バージョンアップデータ転送は約 1 分～3 分で終了します。



### 5-9. バージョンアップ終了

バージョンアップが正常に終了すると右図のメッセージが表示されます。



## 6. 書換え完了後

### 6-1. 設定初期化

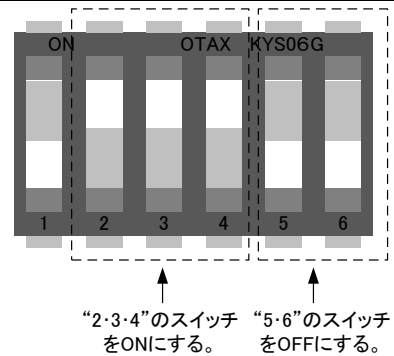
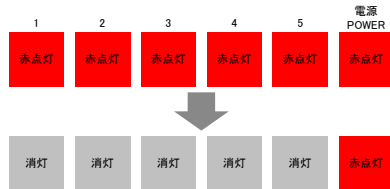
ファームウェアの書換えが完了後、装置の設定を工場出荷値・初期値へ戻します。

#### IP<sup>3</sup>-FP8・IP<sup>3</sup>-K5D

バージョンアップ終了後、装置の電源を切り右図のようにディップスイッチを変更し、電源を再投入して下さい。

装置の電源以外のLED1～LED5が同時赤点灯をします。

LED1～LED5の赤点灯が消灯になると作業完了です。

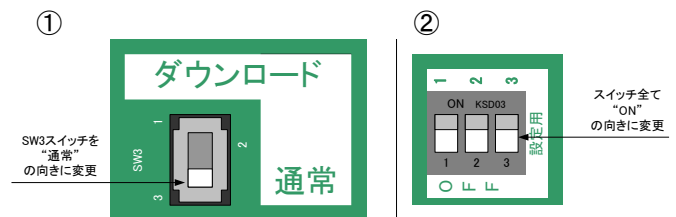
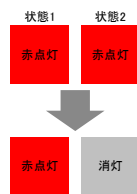


#### IP<sup>3</sup>-FP4・IP<sup>3</sup>-LP4

バージョンアップ終了後、装置の電源を切った後、SW3を“通常”の向きに変更し(手順①)、設定用ディップスイッチ1～3を全て“ON”し(手順②)電源を再投入して下さい。

状態1及び状態2が同時赤点灯をします。

状態2のみ赤点灯から消灯になると作業完了です。



### 6-2. 装置再設定

各種機器取扱説明書を参照の上、機器の再設定を行って下さい。

IP<sup>3</sup>-FP8・IP<sup>3</sup>-FP4・IP<sup>3</sup>-K5D・IP<sup>3</sup>-LP4は装置再設定が完了してからバッテリーを接続して下さい。

### 6-3. 2台目以降のバージョンアップ

同一機種を同一のバージョンにファームウェアを書換える場合、“4. 書換え準備”を行った後、“5-5. バージョンアップ開始”から“6-2. 装置再設定”までの作業を繰り返し行って下さい。

## 7. エラーメッセージ

### 7-1. COM\*がオープンできません。



選択した COM ポートが...

- ・ 他のアプリケーションで使用されていないか？
- 確認
- ・ パソコンに存在するか？
- ・ 使用不可になっていないか？

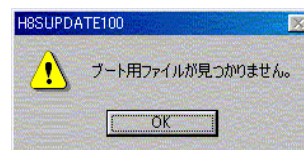


### 7-2. ブートファイルが見つかりません。



- ・ “H8Supdate.exe” と同一フォルダに “H8sbt001.sub” が存在するか？
- ・ “H8sbt001.sub” のファイル名称は正しいか？

確認

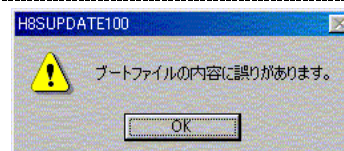


### 7-3. ブートファイルの内容に誤りがあります。



- ・ “h8\_veruputy\_\*\*\*.zip” をもう一度ダウンロードし、セットアップをやり直す。

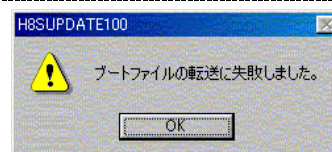
対策



### 7-4. ブートファイルの転送に失敗しました。



- ・ RS-232C ケーブルの接続
- ・ 装置電源投入の状態→電源を再投入し、再送信を行う。
- 確認
- ・ ディップスイッチの位置



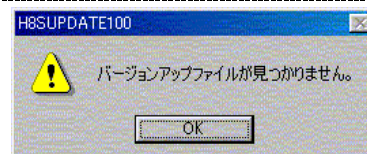
### 7-5. バージョンアップファイルが見つかりません。



- ・ バージョンアップファイルが指定フォルダに存在するか？
- ・ “参照(B)” をクリックし再度ファイルを指定する。

確認

対策

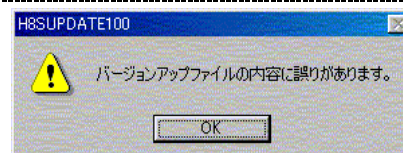


### 7-6. バージョンアップファイルの内容に誤りがあります。



- ・ 製品 “バージョンアップファイル” をもう一度ダウンロードし、バージョンアップをやり直す。

対策



### 7-7. バージョンアップファイルの転送に失敗しました。



- ・ RS-232C ケーブルの接続
- ・ 装置電源投入の状態
- 確認
- ・ ディップスイッチの位置

